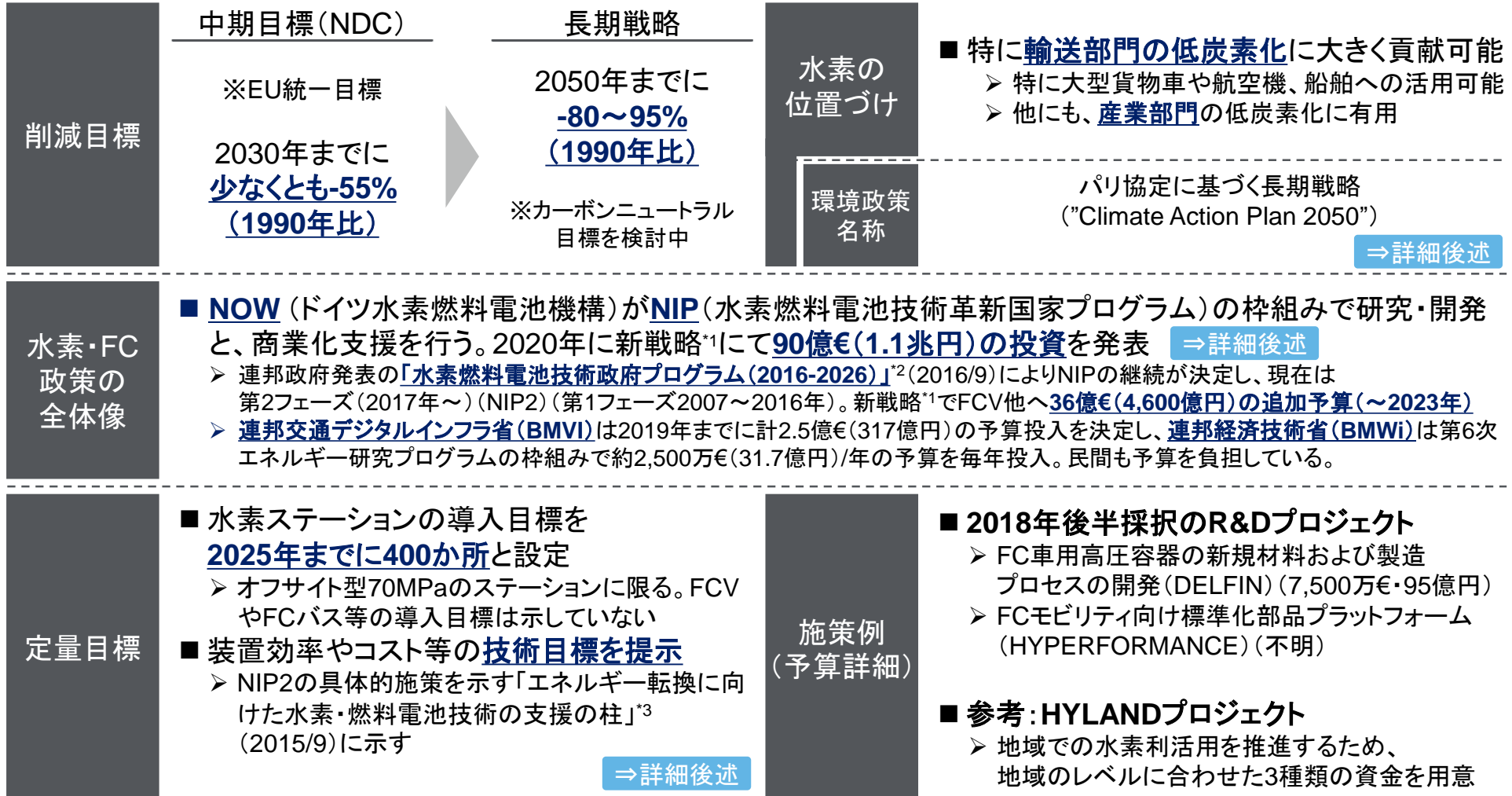




【国・地域別サマリードイツ】

2017年よりNIP2の枠組みで、NOWが水素・燃料電池施策を展開

ドイツ



出典: UNFCCC、NOW *1: The National Hydrogen Strategy(2020年) *2: 原題は"Regierungsprogramm Wasserstoff- und Brennstoffzellentechnologie 2016 - 2026 von der Marktvorbereitung zu wettbewerbsfähigen Produkten" *3: 原題は"Wasserstoff- und Brennstoffzellen-Technologien –Tragende Säulen der Energiewende"



<参考：水素の位置づけ詳細>

パリ協定に基づく長期戦略にて、特に輸送部門の低炭素化に水素が有用としている

NDCと長期戦略における水素・燃料電池に係る内容(ドイツ)

| | 排出削減目標 | 水素・燃料電池に係る内容 | 提出日*1 |
|---------------|---|--|---|
| 中期目標 (NDC) | ※EU統一目標 2030年までに <u>少なくとも-55%</u> (1990年比) | (言及無し) | 2020/12/17 |
| 長期戦略 | 2050年までに <u>-80～95%(1990年比)</u> ※カーボンニュートラル 目標を検討中 | <ul style="list-style-type: none"> ■ <u>輸送と産業部門</u>において水素に言及 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 化石燃料代替として、産業部門でのCO2フリー水素燃料利用の有用性に言及 (輸送部門での内容は下記参照) ■ FCVを含め、<u>新エネルギー車両の技術やインフラを引き続き支援</u>すると言及 <ul style="list-style-type: none"> ➢ <u>再エネより製造した水素</u>を燃料電池に利用することや、メタンや液体燃料を合成し、電化が難しい<u>航空機や船舶</u>に利用することの有用性に言及 ➢ 既存の車両に劣らない走行性を持ち、輸送部門の排出削減に貢献可能な車両として、PHEVやEVと併せ、FCVに言及 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 大型運搬車への活用可能性にも言及 ➢ 政府の<u>NIP</u>への継続的支援がエネルギー転換に貢献すると述べられている | 2016/11/17 再提出 2017/4/26 2017/5/4 ("Climate Action Plan 2050"として提出) |

出典: UNFCCC
*1: UNFCCCに提出された日



<参考：水素・FC政策の全体像詳細>

2020年6月10日にドイツ政府は、90億€(1.1兆円)の投資を盛り込む国家水素戦略を閣議決定した

ドイツ国家水素戦略概要

| | | |
|------|---|--|
| 名称 | 国家水素戦略 ("The National Hydrogen Strategy") | |
| 策定主体 | 経済エネルギー省 ("Federal Ministry for Economic Affairs and Energy") | |
| 策定期期 | 2020年6月 | |
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 2年間€1,300億の経済振興策パッケージの一つとして、90億€(1.1兆円)の投資を盛り込む水素戦略を2020年6月10日に閣議決定 ■ 化石燃料からのエネルギー転換の促進と達成のために、水素が重要な役割を担うと位置付け | |
| 主な施策 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 戦略の目標達成度のモニターのために、水素委員会*1・水素評議会*2を設立 ■ フェーズ1(2020年～2023年)・フェーズ2(2024年～2030年)に分けて、4分野38の施策を提言 <ul style="list-style-type: none"> ① 水素の製造 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 水素製造への税制見直し(再エネ賦課金免除等)、水電解装置への支援 他 ② 水素の利用 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 重貨物輸送・鉄道・航空機用の水素充填インフラ整備、航空機のクリーン燃料利用義務化の検討 他 ③ 研究・教育・イノベーション <ul style="list-style-type: none"> ➢ 研究イニシアチブの設立 他 ④ EUへの働きかけ | |
| 定量目標 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 水素の製造能力目標を2030年までに5GW、2040年までに追加で5GWと設定 ■ “package for the future”として、水素関連分野へ90億€(1.1兆円)を投資 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 国内の水素技術への投資：70億€(8,900億円) ➢ 国際連携への投資：20億€(2,500億円) | |

出典: ドイツ政府(2020) The National Hydrogen Strategy、各種報道

*1: State Secretaries' Committee on Hydrogen *2: National Hydrogen Council



<参考： 定量目標詳細>

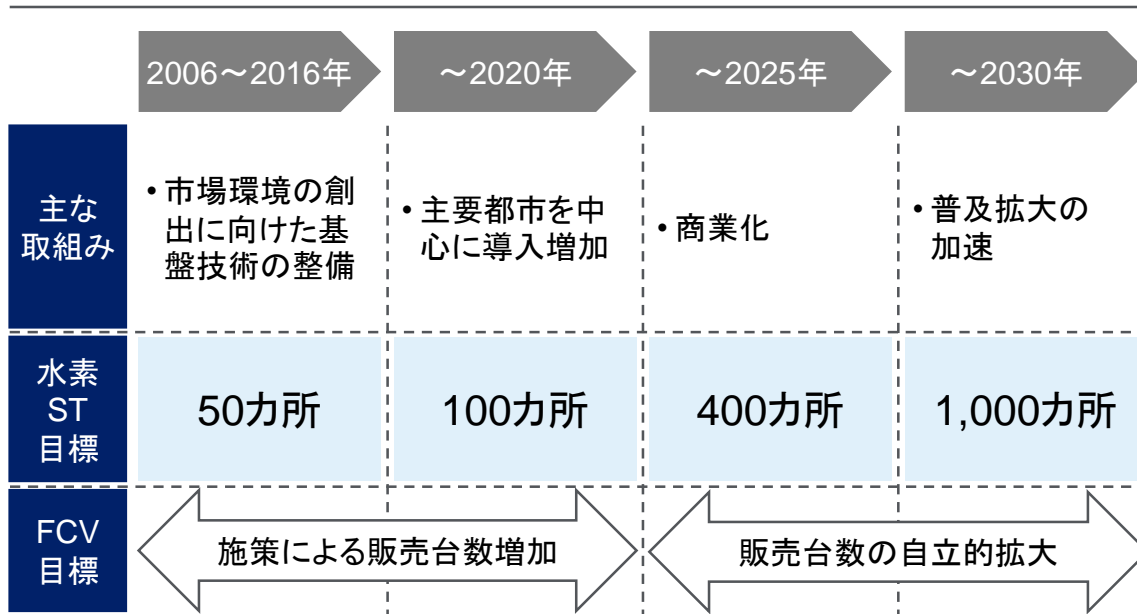
新燃料インフラ戦略で、2030年に1,000か所の水素ステーションを導入するとの目標を掲げる

水素ステーション導入目標

- 欧州指令 2014/94/EUに従い、2016年9月に**連邦交通デジタルインフラ省 (BMVI)**が**新燃料インフラ開発のための国家戦略枠組み**^{*1}を発表。同年11月に連邦内閣が採択
- **電気、水素、天然ガス**の3種の新燃料インフラ拡大のための**目標と施策**を示す

ロードマップ

施策



- 50か所の水素ステーションプログラムを通じた、最初のネットワーク構築 (NIPより資金提供)
- 水素・燃料電池技術のさらなる開発と市場導入のための、2016~2019年を対象とする、**2.47億€(313億円)**の追加資金 (NIPの下で実施)
- 全国的水素ステーションネットワーク構築における、分野横断型プラットフォーム **H2Mobility Germany**の支援

出典: BMVI (2016) *Nationaler Strategierahmen über den Aufbau der Infrastruktur für alternative Kraftstoffe*

*1: 原題はNationaler Strategierahmen über den Aufbau der Infrastruktur für alternative Kraftstoffe